

【読書指導】

第2学年 国語科学習指導案

住田町立有住小学校

児童 2年 8名

授業者 泉 田 さとみ

- 1 単元名・教材名 自分と比べながら読もう
「わたしはおねえさん」(光村図書 2年下)

2 単元について

(1) 教材について

作品の主人公は、児童と同じ2年生である。幼い妹との日常のやりとりは、兄弟姉妹がいる児童や進級してお兄さんやお姉さんになった児童にとって実感を伴って読み進めることができる教材である。

(2) 児童について

児童は、読み聞かせを好み、教師が紹介した授業と関連する図書に進んで触れてきている。7月単元「お気に入りの本を紹介しよう」では、これまでに読んだ本の中から自分のお気に入りの本を友達に紹介する学習を行っている。物語の登場人物と自分と比べながら読み進めるという読書経験は少ない。また、自分の考えをすぐに話すことができない児童がいるので考えを書く時間を設けるなど手立てを考えていきたい。

(3) 指導について

まず、第一次では、「自分と比べながら読もう」という単元の課題を設定し、学習計画を立てていく。そして、教師が作成した感想カードのモデルを見せ単元のゴールをイメージさせる。

第二次では、「わたしはおねえさん」を読み、すみれちゃんの言動で心に残ったところに黄色の付箋を貼らせていく。次に、主人公の言動に着目させて、なぜ、その言動をとったのかを自分と比べながら考えさせる。そして、一番心に残ったところを選び、すみれちゃんの言動について心に残った理由や自分と比べて思ったことを付箋に書かせていく。その時に、自分と比べる視点を提示して自分の体験と比べやすくさせたい。最後に、付箋に書いたメモを基に感想カードに書かせる。感想カードのモデルを参考にさせ、書く順序や引用文の書き方などを理解させる。

同年代が主人公である本4冊を読み進めておく。第三次では、4冊の中から1冊選び、一番心に残ったところについてその理由や自分と比べた感想を書き、友達と感想カードを交流させたい。

3 学校図書館教育との関連

【読書指導】

- ・本単元では、同年代が主人公である本を読み、主人公の行動や会話と自分の体験を比べた感想をカードに書いて友達と交流するという言語活動を設定する。
- ・完成した感想カードを、本とともに廊下に掲示し他学年にも見てもらうという設定をし、相手意識をもたせ学習意欲を高める。

4 単元の目標と評価規準

(1) 目標

- ・読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。[知識及び技能] (3) エ
- ・文章の内容と自分の体験を結び付けて、感想をもつことができる。
[思考力・判断力・表現力] C (1) オ
- ・文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。
[思考力・判断力・表現力] C (1) カ
- ・言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。
[学びに向かう力、人間性等]

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。 (3) エ	① 「読むこと」において、文章の内容と自分の体験を結び付けて感想をもとうとしている。 C (1) オ ② 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。 C (1) カ	① 進んで、登場人物の行動と自分の体験を結び付けて想像し、学習課題に沿って伝え合おうとしている。

5 単元の指導・評価計画(本時 第10時/全10時間)

時	学習活動	評価
1	・「自分と比べながら読もう」という単元の課題を設定し、学習計画を立てる。	
2	・すみれちゃんの言動で心に残っているところを付箋に書き抜く。(付箋黄色)	【主体的に学習に取り組む態度】 進んで、登場人物の行動と自分の体験を結び付けて想像し、学習課題に沿って伝え合おうとしているか確認する。 【思考・判断・表現①】 メモ、感想カード 文章の内容と自分の体験を結び付けて感想をもとうとしているか確認する。 【思考・判断・表現②】 観察、ワークシート 文章を読んで感じたことや分かったことを共有しているか確認する。 【知識・技能】 観察 4冊の本に興味をもって読書しているか確認する。 【思考・判断・表現①】 メモ、感想カード 文章の内容と自分の体験を結び付けて感想をもとうとしているか確認する。
3	・すみれちゃんの言動についてその理由を考える。	
4	・すみれちゃんの言動について、一番心に残ったところを選び、その感想を付箋に書く。	
5	・行動や会話などから、すみれちゃんの人物像を考える。	
6	・一番心に残ったところについて付箋を基に感想カードにまとめる。	
7	・友達と感想を交流する。 ★4冊の本を読み進める。	
8	・同年代が主人公である本を読んで一番心に残ったところについて感想を付箋に書く。	

9	<ul style="list-style-type: none"> 一番心に残ったところについてメモを基に感想カードにまとめる。 	<p>【思考・判断・表現②】観察、ワークシート文章を読んで感じたことや分かったことを共有しているか確認する。</p>
10 本時	<ul style="list-style-type: none"> 友達と感想を交流する。 	

6 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・同年代が主人公の本を読んで一番心に残ったところについて、主人公と自分を比べた感想を友達と交流し、共有することができる。

(2) 展 開

段階 時間	学習活動	・指導上の留意点 ◆評価
導 入 (7)	<p>1 前時を想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習計画表を見たり、友達の振り返りを聞いたりして、前時の学習内容を思い起こす。 <p>2 課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">かんそうをこうりゅうしよう。</div> <p>3 見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時は、前時に書いた感想を友達と交流すること、振り返りをすることを知らせる。 <p>〈交流の仕方〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 一番心に残ったページを開く。 ② 感想カードを読む。 ③ 友達の感想を聞いて思ったことを話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の頑張りを思い起こさせ本時の学習への意欲につなげる。 ・黒板に本時の流れを示し、学習の見通しをもたせる。 ・思ったことは、選んだ箇所が、自分と同じか違うかまた、友達が書いた感想のよいところを話すことを知らせる。
展 開 (30)	<p>4 課題を解決する。</p> <p>(1) 同じ本を選んだ友達と交流する。</p> <p>(2) 指名し、感想カードを発表させる。児童全員で聞き合い、感想の書き方のよさを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・聞いている相手がどのページか分かりやすくするために、付箋を貼った本を真ん中に置き、一番心に残ったところを言わせる。 ・どんな感想を言えばよいか困った時は、「わたしはおねえさん」の掲示を参考にさせる。 ◆【思考・判断・表現②】観察、ワークシート文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。 ・全体の場で感想を話す児童を指名する。友達のよさに気付いた児童の発言を板書し、全体で学び合う。

